

CSRを基盤に事業の飛躍的な成長を図り、 ステークホルダーの皆様の信頼に応えます。

古河スカイグループは、アルミニウム圧延業界のトップメーカーとして、高品質でお客様のニーズに合ったアルミニウム製品を安定的に供給し、社会の発展に寄与することを使命としています。

2010年4月、当社グループは2012年度を最終年度とする新中期経営計画を策定・発表しました。この中期経営計画では、2010年度からの3ヶ年を「業容拡大に向けた事業基盤強化と新たな飛躍への第一歩」の期間と位置づけ、収益力・財務体質・技術力・人材力の

いずれにおいても「アジアNo.1の魅力あるカンパニー」へと成長するという中長期の経営ビジョンを掲げています。現在、その実現に向け、国内、海外、新規の3つの事業で具体的な目標を設定し、さまざまな施策を計画的に推進していますが、なかでも、新規事業においては「環境」「エネルギー」「IT」をキーワードに自動車、リチウムイオン電池、太陽光発電などの分野で次世代環境調和製品の開発に力を注いでいます。

また、こうした事業施策を進めるうえでの基盤を強化するために、CSRを重視した企業経営に努めており、法令遵守、安全性向上、環境保全、人材育成の4つをCSR重点項目として掲げています。

例えば、法令遵守については、2008年4月から運用を開始した内部統制システムの継続的な改善を図っています。

また環境保全では、グループにおける環境活動を推進する役割を担う「環境安全部」を新設し、環境活動の管理体制を明確にしました。この環境安全部のもと、2010年度から始まる新環境中期計画に沿って、取り組みを強化していきます。

安全性向上については、管理監督者教育が最重要課題と認識して、2008年から実施している「新任ライン課長研修会」をさらに充実させるために、2009年は、ライン課長候補者と、実験設備を持つ研究部門長を参加させ、安全意識の高揚・徹底を図っています。

最後に人材育成については、各種の能力開発支援制度を整備しており、2009年度は、階層別研修や資格取得を支援する通信教育を充実させました。

当社グループは、上記の取り組みを2010年度も着実に実行し、お客様をはじめとするステークホルダーの皆様から信頼される企業グループであり続けたいと考えています。このCSRレポートでは、さまざまな取り組みをできる限り具体的に報告しています。ぜひご一読いただき、忌憚のないご意見やご指導をいただければ幸いです。

代表取締役社長 吉原正照



古河スカイのめざすCSR

法令遵守のために

法令遵守や公正で倫理的な行動を誓約した「経営理念」「行動指針」を実践するために、CSR委員会を設置するとともに、社員教育の徹底や内部監査体制の強化に取り組んでいます。

環境保全のために

全事業所でISO14001認証を取得し、ゼロエミッションや省エネルギー、地球温暖化防止、リサイクル、環境調和型製品の開発などをテーマとした継続的な活動を推進しています。



安全性向上のために

安全で快適な労働環境を確保するために、経営層が自ら先頭に立って安全衛生研修を実施しているほか、地道に5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)を展開するなど、「全工場互いに助け合い」をスローガンに活動しています。

人材育成のために

アジアを中心とした生産拠点のグローバル化が進むなか、古河スカイは多様な価値観を尊重し、さまざまな個性や才能が発揮できる、倫理的で自律性溢れる人材育成プログラムの整備を進めています。